

瓜生小だより

令和元年度 第4号
令和元年6月28日



雨は恵み

校長 吉田 正行

雨の日が多くなってきました。ある雨の日、「雨の日は外で遊べないから嫌でしょう？」と話しかけると、「雨の日は楽しみです。だって新しい傘を買ってもらったからです」との答えが返ってきました。また、ある子は「私はアジサイの花が好きなので、今の季節はアジサイの花がきれいだからそんなに嫌いではありません。」という回答でした。なるほど、瓜生小学校の子供たちは前向きです。

雨の多い季節は洗濯物を干すのも大変です。外出するにも、何かと手間がかかります。屋外で仕事をする人にとっては、雨が降ることで予定が変わったり、急な対応を迫られたりして、気分が重い季節でしょう。しかし、この時期に降る雨は、真夏の水不足を回避することにつながったり、作物の成長に大きな影響を与えたりします。米、野菜、果物など、すべての作物は、雨量が少ないと育ちません。その結果、農作物が高騰し、私たちの生活にも即座に影響してきます。



きし農園やJAの方から栽培の工夫を聞く3年生

さて、農作物と言えば6月11日に3年生が社会科の学習で多摩市役所の近くにある「きし農園」に行きました。道路から見ると、こんなところに農家があるのかと思えますが、中に入ると広大な農地に驚かされます。そこでは、ビニールハウスで野菜を栽培したり、田んぼでお米も作ったりもしています。田んぼはちょうどこれから水を入れて、しろかきをする準備をしていました。

また、しいたけの栽培もしているそうです。案内をしていただきながら、農園やJAの方からの話を聞き、今の時期の雨は野菜などの作物にとってはなくてはならないものであるということも学びました。教科書や資料集で学習するだけでなく、実際に現場に行き、話を聞き、そこででてきた課題を調べることで学びがさらに深まります。子供たちが学習後に作成した新聞には「ビニールハウスが2重になっています。寒い時には3重にし、下にホットカーペットをしきます。その話を聞いて、植物も人みたいに温かくすると良いことを知りました」と工夫に対しての驚きや感想が書かれていました。

まもなく7月に入り、梅雨が明け、いよいよ本格的な夏が到来します。1学期のまとめをしっかり行い、元気に夏休みを迎えたいと思います。

せいかつしゅうかん

【生活習慣のふりかえり 6月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……

やさしい言葉
優しい言葉

優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……

がくしゅう どくしょ
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてくださいよう願いたします。